

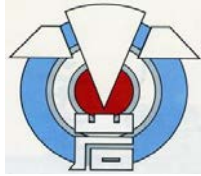
平成25年度  
小学校16校・中学校7校の  
教育目標

# 岩村田小学校

所在地 〒385-0022 佐久市岩村田2641-2

電話 67-3309 FAX 68-9765

E-mail iwamura@sakushi.ed.jp



外側の円（青色）は素直な心をもった人間。三角はつとめを進んではたす人。白い円は内と外の円に接し、「岩」と「小」をつないでみんな仲良く手を取り合う様子。「小」は平和を象徴するハトの図案化。中心の丸（赤色）は太陽のように健全で生命力にあふれた人間を表している。（昭和33年制定）

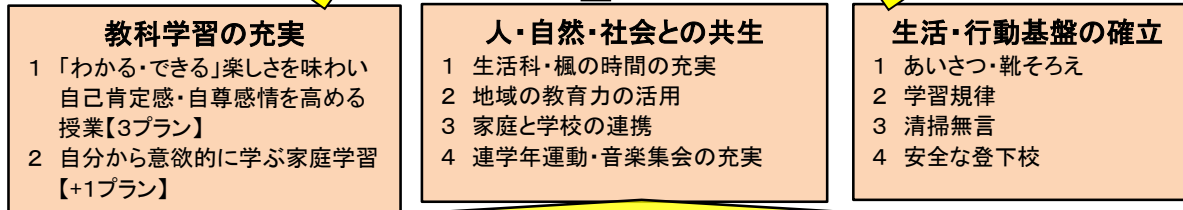
## 1 学校教育目標

ひとりになれる ひとつになれる

- ◇ひとりになれる（自立）  
「場に応じて考え、自分の力を発揮できる子ども」
- ◇ひとつになれる（共生）  
「力を結集すべき場・すべき時に主体的に関わり、活動を高めようとする子ども」

## 2 本年度の重点目標

心と体をはたらかせながら共に学ぶ子ども



願い具現のために

【願い1】自己肯定感を持った岩小っ子 【願い2】自ら学ぶ岩小っ子 【願い3】共に学べる岩小っ子

3つの願いの具現に向けた 学級文化の高揚

## 3 特色ある教育活動

- (1) 3プラン「授業のねらいの明確化」「授業のめりはり」「授業のねらい達成の見とどけ」+1プラン「マイ手引きを活用した自分学習の充実」を中核とした教科学習の充実
- (2) 子どもと教師が「専心」できる生活科・楓の時間（総合）の実践（学習室【楓カフェ】、6年【手作りイカダ湯川下り】等）
- (3) 北佐久農業高校、地域学習ボランティア、佐久大学等外部講師等、地域の教育力の積極的な活用
- (4) 「靴そろえ」「清掃無言」を合言葉とした基本的な生活習慣の獲得



＜手作りいかだで湯川下り＞

## 4 施設等の特徴



今も残るバックボードがシンボルに

明治5年、佐久の第1番学校として龍雲寺に開校された本校は、今年で開校141年を数える。明治22年に天神町に校舎を移したが、昭和47年、現在の校舎のある上の城跡に移転した。当時、ここは野球場であったが、バックボードがそのまま残された校庭や、外野スタンドの客席をそのままギャラリーとして残した体育館には、当時の面影をみることができる。

学校北側には、戦没慰霊者を祀った招魂社の森や岩村田児童公園があり、子どもたちにとって憩いの空間となっている。

校舎の老朽化、1000人を超える大規模校解消のため、平成27年4月には、岩村田小と佐久平浅間小に分離する。

# 平根小学校

所在地: 〒385-0002 佐久市上平尾936

電話 67-3539 FAX 67-9085  
E-mail hirane@sakushi.ed.jp



近くの平尾富士山にちなみ、富士山のような高い志を持つ子どもの育成を期して昭和40年に制定



平根小自慢の桜の木

## 1 学校教育目標

聡く・明るく・たくましく

地域・保護者と連携した「ひらね」の子の育成

人・ものとのつながりを感じ、自分を高める子どもの育成

## 2 本年度の重点目標

ひ・・・「ひたむき」に勉強し

ら・・・自分「ら」しさを大切に友だちのよさをみとめながら

ね・・・「ねばり」強く活動する

「ひらね」の子



①どの子も分かる授業づくり ②地域を学ぶ・地域で学ぶ・地域に学ぶ ③明るいあいさつ

## 3 特色ある教育活動

### 【分かる授業】

◇かかわりを大切に、どの子も分かる授業づくり

- ・学習課題の明確化
- ・自分の言葉で

◇個に寄せた支援

- ・職員の連携を生かして

### 【特色ある教育課程】

◇地域を学ぶ・地域で学ぶ・地域に学ぶ

- ・総合的な学習の時間の充実
- ・平尾山もみじ祭り学童マラソン
- ・平尾山登山

◇しじみ清掃の徹底

### 【楽しい学校】

◇明るいあいさつ

- ・あいさつ運動

◇動ける身体

- ・マラソンを生活の中に位置づける
- ・食育の推進

## 4 施設等の特徴

○保護者の学習参加・・・朝の読み聞かせ、稲作

○総合的な学習の時間で平根地域の行事や平根水力発電の学習

○平尾山もみじ祭りへの参加・学童マラソン

○徒歩で行かれる地元にあるパラダスキー場でのスキー教室の実施



# 中 佐 都 小 学 校

所在地 〒385-0025 佐久市塚原808番地

電 話 67-3418 FAX 67-3438

E-mail [nakasato@sakushi.ed.jp](mailto:nakasato@sakushi.ed.jp)

校 章



周囲に中佐都の「中」の文字と勉学を表すペンを配し、地の緑色に稲穂を添えて肥沃な米作地帯にあることを象徴させ、中央に小学校の「小」の文字を据えている。



2013年に、子どもの活躍の姿にあわせて学校教育目標を刷新する。新幹線・高速が走る地域と学校の姿を記録した航空写真撮影実施。

## 1 学校教育目標

**「かがやかに」なかさと小**

な か よ く か し こ く さ い ご ま で ふ る さ と と と も に

## 2 本年度の重点目標

(1) 友を思いやり、ともに高め合う仲間づくり ～なかよく～

- ① 明るいあいさつができる。
- ② 規範意識を育み、それを基盤とした人権教育、道徳教育を充実させる。

(2) 「わかる授業の創造」と「体力向上」 ～かしこく～

- ① 基礎的・基本的な学力と体力の向上を図り、子ども達を多面的にとらえ、伸びようとする力を一層伸ばすことができるようにする。
- ② 授業がもっと良くなる3観点を生かした、分かる授業の構築を図る。
- ③ 体育科学習や全校運動の中に、楽しみながら体力向上につながる計画を工夫する。
- ④ 新設された自・情緒障害学級について啓発するとともに、教育内容の充実を図る。

(3) 何ごとにも粘り強く本気で取り組む子ども達 ～さいごまで～

- ① 学校生活や毎日の学習に、めあてを持って粘り強くのぞみ、達成した時のよさを感得できるようにする。
- ② 自分の考えや思いを、はっきり相手に伝えられるように、順序立てた表現が身につけられるようにする。
- ③ 校舎内外の環境整備や清掃美化に努める。
- ④ しじみ清掃・整理整頓ができる。

(4) 中佐都を愛する心 ～ふるさととともに～

- ① 地域の方々との活動や交流を積極的に行う。
- ② 地域・家庭と連携した健康教育の推進。

## 3 特色ある教育活動

<地域と連携した活動>

- ・米、花、野菜づくり・ボランティアによるお話の会や英語活動
- ・わら細工講習会・中佐都青少年健全育成会・語りの会
- ・なかさと探検・シルバーポートつかばらの皆さんとの交流
- ・地域主催行事への参加(どろんこ祭、ふるさと駅伝大会、健全育成標語、十日夜、獅子舞、御札配り、八日講等



児童会によるあいさつ運動



36年目を迎えたふるさと教育

## 4 施設等の特徴

- ワークスペースのある各教室(可動間仕切り壁)
- 中佐都郷土館(3階資料室)
- プラネタリウムを備えた展望室
- 社会体育併用の体育館
- 学校裏山の「カッテ石」(学習や遊びで活用)

# 高瀬小学校

所在地 〒385-0016 佐久市鳴瀬 1350-1

電話 67-2459 FAX 67-2482

E-mail [takase@sakushi.ed.jp](mailto:takase@sakushi.ed.jp)



## <校章の由来>

養蚕を示す繭の形と稲作を表す米の形で「小」をつくり、豊かな高瀬の地を、またカタカナのタカセによって千曲川・湯川・滑津川を表現する。さらに、外円の8弁の図柄によって高瀬学区の8地区（今井・三河田・白山・横和・大和田・南岩尾・北岩尾・落合）を表現している。



## 1 学校教育目標



「かしこく つよく うつくしく」

「かしこく」学ぶ楽しさ・乗り越える楽しさを見いだす子ども（知性）

「つよく」ねばり強くやり抜くたくましい子ども（意欲）

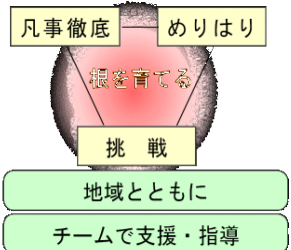
「うつくしく」心身共に清々とした子ども（感性）

## 2 本年度の重点目標

(1) 持てる力を発揮し集中して学習に取り組む子ども 【わかり合う授業】

(2) 自分たちの学校を時間いっぱい磨く子ども 【時間いっぱい取り組む清掃】

(3) 相手を意識して行動できる子ども 【あいさつ・歌声・静聴】



## 3 特色ある教育活動

- (1) 「児童一人一人につけたい力」を明確にし、それが達成できる学習の創造。
  - ・児童一人一人の現状を把握した、授業のユニバーサルデザイン化
  - ・体験学習の推進（交流活動、調査・体験活動など人との出会いから学ぶ学習の充実）
  - ・児童の意欲を大事にした活動を展開する「まなびの時間」
- (2) 子どもが進んで読みたくなる読書活動の充実
  - ・日課に位置づけた朝読書「本ごはん」の時間、親子読書の日の設定
  - ・職員、保護者、地域ボランティア等による読み聞かせ
  - ・教科等とリンクした読書活動、読書旬間の充実（児童会の活動・親子読書の充実）
- (3) 子ども理解・個別指導の充実
  - ・日課に位置づけた放課後の「ゆとりの時間」での子どもと教師のふれあい、個別指導、運動遊びの奨励
- (4) 地域との共育をめざし、地域のひと・もの・ことと出会う「ふるさとこだま学習」
  - ・地域の方を講師に、ふるさと高瀬の地域や文化にふれ、地域の人々との関わりの中に学ぶ

## 4 施設等の特徴

- (1) 雨が上がればすぐに使用できる水はけのよいグラウンド
- (2) 多目的の野外ステージ（学年、学級や管楽器クラブの発表、コンサート、遊びなどに利用）
- (3) 学区内にチョウゲンボウの飛来地
- (4) 学区内に「千曲川交流スポーツ広場」（佐久バルーンフェスティバル・佐久鯉まつり会場）

# 野 沢 小 学 校

所在地 〒385-0043 長野県佐久市取出町472-3

電話 0267-62-0109 FAX 0267-62-5198

E-mail nozawasho@sakushi.ed.jp



統合した際に、校歌と校章を募集し新しくした。新しい校章は校歌とも関連している。2つの三角形は、校歌「浅間山と蓼科山を表し、また、「水面におどる鯉のように」の鯉の尾鰭の形でもある。校歌の最後に、「のびゆけ野沢小学校」とあるが、未来に向かってのびてゆく翼でもある。真ん中の桜の花は、昔から本校にある魯桃桜を表しこの花のように寒さや苦しさに負けない強い心と魯桃桜のようなやさしく美しい心の持ち主になって欲しいとの願いでデザインされた。

## 1 学校教育目標

やさしく かしく たくましく ～安心して、楽しく、児童自ら確かな学力を身に付ける学校～

## 2 本年度の重点目標

- \* 「楽しい」「わかった」が実感できる授業づくり
  - ・ わかる喜びがあり意欲的・主体的に取り組む授業の創造
  - ・ 自分の思いを表現し合い教師や友だちと関わり合いながら共に深め合う授業の創造
  - ・ 思考し、表現できる学習の創造
- \* 児童一人一人の居場所、互いを認め合える学級集団
  - ・ 一人ひとりが自尊感情や自己有用感を持つ豊かで温かい心の育成
  - ・ いじめや差別を許さない集団、認め合い、支え合いのできる学級集団の育成
- \* 子どもの育ちを支援する地域・家庭・学校の三者によるネットワークづくり
  - ・ 地域・家庭・学校の三者による安心で安全な環境整備と協力体制の充実
  - ・ 学校からの情報発信の推進
- \* 子どもの学びを支える「教師の専門性」の向上



野沢の鐘

## 3 特色ある教育活動

- \* 児童理解を基盤としたどの子ども「楽しい」「わかった」を実感できる授業づくり
  - － 「わかった」と感じる授業構想の練り上げ、「楽しいな」と感じる授業場面の工夫、発表場面で「うれしいな」と感じる認め合える集団づくり、「やった」と感じる学習カード等による個々の学びの評価
- \* 1時間の授業に言語活動（書く・話す・聞く）を位置づけた思考・表現の育成
- \* 体験活動を中心とした教育実践
  - － 価値ある事柄にふれさせ意欲を引き出す取り組み、地域の人・もの・こととの交流活動
- \* 道徳の時間の充実－心のふりかえり、立ち止まって考える子の育成
- \* 人権教育・特別支援教育を基盤とした一人一人への支援の充実
  - － 生活記録等を通した子どもとの対話、子どもの人間関係の確かな把握、人間関係づくりに視点を置いた学級経営案等の充実、個別の支援計画の充実、複数の教師によるチーム支援体制の充実
- \* 特色ある学校行事
  - － いなごとり集会、緑の少年団活動（大沢地区児童）、教師と子どもが向き合い、語り合える「相談旬間」の実施
- \* 自己に問いかけ、自己と向き合う6学年児童による朝清掃活動
- \* P T A活動－「地域ふれあい祭り」、保護者・P T Aによる「本の読み聞かせ活動」
- \* 地域住民の自主参加による子どもたちの「安全見守り隊」の活動
- \* 学校だより「や・か・た」の発行（地域、保護者への月1回の発信）

## 4 施設等の特徴

- \* 野沢の鐘－子どもたちや地域の方々が愛着を持つ野沢小学校のシンボル、大切な行事に響く野沢の鐘
- \* 県民グラウンドに隣接する豊かな学習環境や自然環境

# 泉 小 学 校

所在地 〒385-0055 佐久市三塚273-1

電話 62-0394 FAX 62-7048

E-mail [izumi@sakushi.ed.jp](mailto:izumi@sakushi.ed.jp)



## 校章の由来

二つの楕円と四本のペンを組み合わせ、中央に泉をあしらったもの。

楕円は円満・平和と四つの通学区、前山 桜井 泉 三塚 を表しています。



## 1 学校教育目標

清く・正しく・たくましく

- ① 素直で明るく、優しい心を持った子 (情)
- ② よく考えて正しく判断し、行動できる子 (知)
- ③ 丈夫な体と粘り強い心を持った子 (意) (体)

## 2 本年度の重点目標

③ すすんで  
学び  
力をのばす  
泉の子

わく  
わく

友だちの考えと関  
連づけて発言しよ  
う



① しっかり聞いて  
はっきり話す泉の子

はき  
はき

朝の会・帰りの会  
で必ず声を出そう

② 自分で考えて  
行動する泉の子

のび  
のび

清掃の15分間無言で自  
分から働こう  
感謝の気持ちを持って食  
事をしよう

## 3 特色ある教育活動

- (1) わかる授業
  - ・学習内容の定着化(ドリル時間の活用、家庭学習習慣の形成)
  - ・グループ追究や全体追究など、学び合いの時間を大切にします
- (2) 特色ある教育課程
  - ・泉小独自の算数検定(目標を持って自ら学ぶ意欲を育てる)
  - ・時間割の工夫(朝読書、10分間ドリル)
  - ・地域ボランティアの教育力の活用(語り・読み聞かせボランティア「おはなしの泉」、学習支援ボランティア「花まるいずみ」)
- (3) 楽しい学校
  - ・呼び捨てをなくす人権教育の推進
  - ・自分と相手の気持ちを大切にすることを学ぶソーシャルスキルトレーニングの実施

## 4 施設等の特徴

- ・平成24年度末で学校新築工事が全て完了し、校庭で元気に遊べるようになった。

# 岸野小学校

所在地 〒385-0061 長野県佐久市伴野 1725

電話 62-0384 FAX 62-0542

E-mail [kishino@sakushi.ed.jp](mailto:kishino@sakushi.ed.jp)



佐久市のマークに3本の若竹の葉を添えて、中央に「岸野」の文字をデザインしたもの



## 1 学校教育目標

～わか竹の伸びゆくごとく子どもらよ 眞すぐにのばせ身をたましひを～  
自ら考え 支え合って たくましく生きる子

## 2 本年度の重点目標

(1) 聞いて考えて伝え合う学習をする。

<研究テーマ>自分のよさを生かして思いや考え方を表現できる子どもに育てるにはどのようにしたらよいか ～“言語活動”の充実を目指して～

(2) 気持ちのよいあいさつをし友だちを大切にする。

(3) 清掃やマラソンに粘り強く取り組む。

## 3 特色ある教育活動

(1) ひとりひとりが安心して学習でき、お互いに何でも言い合える環境づくりに配慮した“岸野式”学習を実施していく。

(2) 授業の終わりに「わかったこと」「友だちの考えでよかったこと」「もっとやってみたいこと」等振り返りの観点を明確にして子どもの自尊感情を高めようとしていく。

(3) あいさつや清掃を窓口として全校児童とのかかわりを大切にしながらアットホームな雰囲気醸成に努め、人とかかわり方や、認め合い、励まし合いながら共に生きていく子を目指す。

(4) 自分の目標に向かって粘り強く取り組む子の育成のために、毎日の清掃の充実や朝マラソンの奨励など各行事での節づくりをしていく。

## 4 施設等の特徴

(1) 広々としたオープンスペースや学習センターを使った多様な学習活動の工夫。

(2) 家庭や地域等の連携

- ・幼保小中高の連携・伝統文化の継承（よいよい祭り・席書大会・獅子舞集会・どんど焼き）・親芋の会・岸野スポーツクラブ・守り隊など



# 中 込 小 学 校

所在地 〒385-0051 佐久市中込491 電話 0267-62-0065 FAX 0267-62-6212  
E-mail:nakagomisho@sakushi.ed.jp



## 校章 藤の花

旧中込学校の開校とともに植えられた藤を表す。学問追究・進取の精神を、皆が仲良く手を取り合っ  
て、助け合って藤のつるのように長く受け継ぎ伝えていきたい。

### 1. 学校教育目標 「かしこく ゆかしく たくましく」

- (1)よく考える子
- (2)思いやりのある子
- (3)ねばり強い子

### 2. 本年度の重点目標【自分で考え、互いに高めあえる子ども】

具現化のために

- (1)学力向上…①朝のドリル、読書の推進 ②話し合い活動の確保 ③学習習慣の定着
- (2)思いやりのある行動…①あいさつの推進 ②異学年間の交流活動 ③言葉遣いの見直し
- (3)体力づくり…①体力テストによる実態把握 ②運動重点期間の設定 ③外部講師による授業

### 3. 特色ある教育活動

- (1)諸教室と連携した一人一人に応じた学習保障  
特別支援学級、ことばの教室、まなびの教室等の諸教室と連携して、一人一人の居場所と学びの保障を考えている。
- (2)PTA祭り  
PTA活動の一環として、PTA祭り(10月)を計画し、地域の方も参加できる環境作りを行っている。保護者と子どもが一緒になって活動している。
- (3)盛んなクラブ活動、課外活動  
クラブ活動は、多くのクラブに外部講師が入るなど、4年生以上の児童が参加し意欲的に取り組んでいる。また、課外活動も盛んであり、金管クラブ(通年)、陸上(春)、水泳(夏)、スケート(冬)など、各課外クラブに積極的に参加し、技術を高めている。
- (4)膝をついての清掃活動  
6年生の毎朝の清掃活動、日々の給食後の清掃活動では、膝をついて黙々と掃除を行うのが、伝統となっている。
- (5)知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成  
体力づくりでは、体力テストによる実態の把握に基づき、サーキットトレーニングを月間で年2回実施したり冬場のマラソンを取り入れたりして、子どもたちの体力の向上を図っている。

### 4. 施設等の特徴

近くに国の重要文化財・史跡の旧中込学校があり、建物だけでなくその建学の精神も大切にしようと取り組んでいる。

- ・総合学習等で旧中込学校の学習を行っている。
- ・各学年で年に2回ずつ旧中込学校の清掃を行い、全校児童が愛着を深めている。

# 佐久城山小学校

所在地 〒385-0034 佐久市平賀5325-1

電話0267-62-0356 FAX0267-62-0118

E-mail: [joyama@sakushi.ed.jp](mailto:joyama@sakushi.ed.jp)



コスモスの花の校章には「宇宙のように壮大な望みをかけ、調和のとれた学校を築こう」「誰にも負けないたくましさ 清純な心を育てよう」という願いが込められている。

## 1 学校教育目標

「自分の手足を動かし、頭を働かせ 心で感じとる」

手足を動かし 活動体験を通して地域の自然や人・もの・ことと関わり自分の育ちを実感する

頭を働かせ 自ら課題を見つけ、自分なりの方法で主体的に追究していく

心で感じとる 共に学び合った学習を通して活動したよさを感じとり自ら表現する

## 2 本年度の重点目標

### ○ 授業が できた・分かった そして群れて遊ぶ『城山21プラン』

豊かな自然・歴史・人材を生かし、21世紀を切りひらいていく人材教育のための教育プラン「城山21プラン」の充実発展

(1) 自らつくり上げる学校

(2) とともに学ぶ楽しい学校

(3) 心温かい笑顔いっぱいの学校

以上三点を本年度の重点とし、その具現に向けて取り組んでいる。

## 3 特色ある教育活動

### ○ ふるさとの歴史と文化に学ぶ学習

- ・ 伝説と人々の暮らし、米づくりを通して学ぶ暮らしの知恵

### ○ 豊かな自然と人に学ぶ学習

- ・ 地域の方が大切にしているサクラソウから学ぶ「ふるさとの学習」
- ・ 地域の方々と共同でジャガイモや麦づくりをし、調理を行う
- ・ 楽農クラブの方々の協力を得て畑の作物作り
- ・ 滑津川での自然体験や観察
- ・ 内山の竹を使って「竹太鼓」

### ○ 国際化・情報化に対応した学習

- ・ ALTによる英語体験学習（全学年）、英語コミュニケーション活動
- ・ インターネットを活用した学習
- ・ 読み聞かせボランティアによる全校読み聞かせ活動



常和地区のサクラソウ群生地の見学(4年)

## 4 施設等の特徴

本校は、昭和56年、旧平賀小学校と内山小学校が統合され誕生した。北に浅間山、南に八ヶ岳・蓼科山の連邦を仰ぎ、東に山岳信仰の荒船山をひかえた山紫水明の地に位置している。学区内には、コスモス街道や、サクラソウ群生地、菜の花畑があり、季節には多くの観光客でにぎわっている。

# 東 小 学 校

所在地 〒385-0006 佐久市志賀6128-1

電 話 68-6829 FAX 68-6931

E-mail [higashisho@sakushi.ed.jp](mailto:higashisho@sakushi.ed.jp)



平成3年制定。市花コスモスと校名を中央に配し、周りがかつての湖を表す赤い円が囲む。右上の青は香坂川、下が志賀川。合流して西に流れ、また、青色全体でeastのEを、さらに宇宙を行く宇宙船の形を模している。



FBC秋花壇「長野県知事賞」受賞

## 1 学校教育目標

豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

ひ	ひろく豊かな思いやりの心と	〈支え合い、協力できる子〉
が	がんばりぬく強い意志を持ち	〈進んで体を鍛え、めあてを持ってやりぬく子〉
し	しっかり考え 本気で学び	〈深く考え、粘り強く追究できる子〉
の	伸びて未来に羽ばたく	“建学の精神「飛翔」をいつも心に、自己の未来を
こ	「ひがしの子」	たくましく切り開いていく「ひがしの子」に育つ”

## 2 本年度の重点目標

- ひ 「ひろく豊かな思いやりの心と」  
→ 自分から思いを伝える挨拶をしよう。
- が 「がんばりぬく強い意志を持ち」  
→ めあてを持って掃除をしよう。
- し 「しっかり考え 本気で学び」  
→ 思いを聴こう、語ろう、創ろう。



稲作体験（田植え）

## 3 特色ある教育活動

旧志賀小・三井小が統合した東小創立時の建学の精神や地域の方々の願いを大切にして～地域の方々との交流、史跡の見学、栽培活動などの体験的な活動を通して学ぶ～

【各学年の活動例】

- 1 学年 東保育園との交流、お手玉教室
- 2 学年 大豆作り、豆腐作り、東保育園との交流
- 3 学年 地域探検（赤壁の家、つついの池ほか）
- 4 学年 東公民館との交流
- 5 学年 稲作体験（田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭）、わら細工
- 6 学年 地域の遺跡見学、地域のお寺巡り

## 4 施設等の特徴

- (1) 学校校舎内
  - ①各学年にある広いワークスペース ②多目的ルーム
- (2) 学校敷地内
  - ①グラウンドの築山 ②1学年教室南側の砂場 ③グラウンド周辺のマラソンコース
- (3) 学校近隣の施設等
  - ①旧志賀小学校 ②志賀の神津家（赤壁） ③雲興寺、安養寺、明泉寺
  - ④つついの池 ⑤権現山 ⑥関伽流山 ⑦大塚古墳 ⑧茨城牧場長野支場
  - ⑨志賀川・香坂川 ⑩シルバーランドみつい ⑪こまば学園 ⑫香坂新田の碑
  - ⑬大関伽流山小倉観音堂

# 田口小学校

所在地 〒384-0412 佐久市田口3000-1

電話 82-2331 FAX 82-2408

E-mail [taguchi@sakushi.ed.jp](mailto:taguchi@sakushi.ed.jp)



明治末に制定。設計図をアレンジした五稜郭の中に、城内に咲く約500本の桜の花弁を配置。中央の「小」の文字は、お堀にかけられた3カ所の橋のアーチを思わせる左右対称のデザイン。



## 1 学校教育目標

「気づき、考え、実行する」JRCの精神を基調に、

- ・かしこい 子ども
- ・ねばり強い 子ども
- ・思いやりのある 子ども



## 2 本年度の重点目標

関わりを通して学習力を高め、豊かな心と体の育成を図る

- ・関わりを大切にした授業
- ・家庭学習の習慣化
- ・教科担任制の拡充
- ・五稜郭学習を中核にした活動
- ・地域資源を生かした活動
- ・活字文化の活性化
- ・子どもが遊びに浸り込む時間、空間の確保
- ・自治活動の充実と学年の垣根を越えた異年齢集団の交流
- ・自己に挑戦する場を設定し、達成感、成就感を味わう

## 3 特色ある教育活動

○青少年赤十字（JRC）の活動を通して

- ・お台所清掃、五稜郭クリーン作戦・あいさつ運動・ボランティアサービス（VS）活動

○関わりを大切にした授業改善

- ・友や教師との関わり・工夫した教材
- ・教科担任制〔5, 6年国・算・理・音・家〕

○総合的な学習・生活科の時間でふるさと再発見

- ・五稜郭検定、五稜郭探検
- ・地域の人材の活用

○授業だけでは得られない豊かな心や学ぶ力を育む時間

- ・元気タイム
- ・読書タイム
- ・田口っ子フェスティバル

○自己に挑戦する行事・活動、体力の向上

- ・音楽会
- ・運動会
- ・田口峠マラソン&ウォークラリー、縄跳び

## 4 施設等の特徴

国の史跡「五稜郭」の中に位置する本校は、「お台所」を始めとして、敷地全体が子どもたちの歴史学習の場となっている。また、近隣の「枅形」「新海三社神社」など数々の文化財や、隣接する「であいの館」、五稜郭公園内の「川村吾蔵記念館」等『歴史と伝統の中で育つ子ども』の育成に恵まれた環境となっている。

# 青 沼 小 学 校

所在地 〒384-0621 佐久市 入澤 152-1

電話 82-2181

FAX 82-0304

E-mail aonuma@sakushi.ed.jp



上下左右に4本の「剣」と、対角に4本の「ペン」を組み合わせ、8方位の中心に「青沼」の青が据えてある。明治年間にできたと伝えられるが、『文武両道に、秀でる』という人々の願いが、今も脈々と息づいている。



## 1 学校教育目標

かしこく

やさしく

たくましく

・よく考え、意欲的に追究し、しっかり発表できる子ども

・友だち、学校、郷土や自然を愛し、思いやりのある子ども

・最後まで粘り強くがんばり抜く子ども  
・健康、安全に心がけ、身体を鍛える

## 2 本年度の重点目標

重点1 「わかっていく学び」

- (1) 学び合いによる追究の充実
- (2) 心ゆさぶる「問い」
- (3) 主体的家庭学習

重点2 「豊かな心」

- (1) 人、物、(栽培)を大切に
- (2) 常識をわかまえる
- (3) 主体的な読書習慣

重点3 「健やかな体」

- (1) マラソン(通年)
- (2) 季節の運動
- (3) 生活リズム(生活習慣)

## 3 特色ある教育活動

(1)「わかった、楽しい、またがんばりたい」

- ①子どもと教師、子ども同士で伝え合い、しっかり聞き合える関係
- ②朝の読書、家庭での読書、図書室での調べ学習の充実
- ③重点教科研究と互いの授業を見合う会、理科・社会の交換授業

(2)豊かな感受性と健全な判断力、実践力の育成

- ①生命の大切さに触れる(花壇作り・野菜栽培・外遊び)
- ②地域の方々や保育園・福祉施設との交流を通して学ぶ
- ③道徳教育の充実、なかよし旬間(人権感覚を磨く)
- ④異年齢での集団活動の充実(児童会行事・縦割り班活動)

(3)共に学ぶ「水草清き青沼小学校」

- ①郷土の自然に学ぶ(青沼共有学習会・谷川探索・谷川清掃・地域の方との協働学習…リンゴ・プルーン・米・菊花作り)
- ②皆でスポーツを楽しむ(水泳、スケート、ドッジボール、陸上)
- ③少人数の良さを生かした児童理解と早期対応による児童支援



FBC秋花壇

(6年生のメイン花壇)

テーマ；四葉のクローバー  
○各学年ごとにテーマを設け花壇作りに励んでいる。

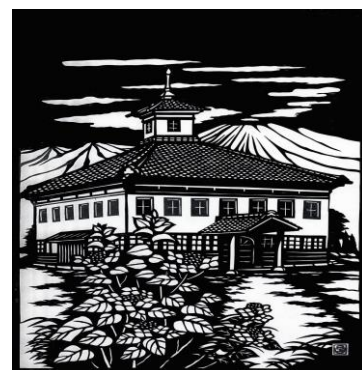
## 4 施設の特徴



地域の教育力を活かす場  
保護者や地域の方と一緒に学ぶ  
「青沼共有学習会」



佐久スケートの伝統を受け継ぐ  
「たんぼリンク」で、スピードスケート滑走をする児童ら



明治9年(1876)設立の「要道学校」  
・地区運動会や若者のスポーツ利用の場  
・地域の拠所としての小学校

# 切原小学校

所在地 〒384-0305 佐久市中小田切100番地1

電話 82-2079 FAX 82-0292

E-mail kirihara@sakushi.ed.jp



三つの山型は上が蓼科山を表し、両側は小田切の山を示し、これらの山に囲まれた扇状地の中央に小学校がある。山は気高い心を表わす。切は桐に同音で、桐は高く上品な木である。三つになっているのは切車と言って車のように回転していきいきと発展していく意味を持っている。まわりの二本の線は片貝川を示し、青い色は清き流れ、清き心を示している。

## 1 学校教育目標 明るく 正しく 仲良く ～ともに学び ともに遊び ともに育つ～

明るく	正しく	仲良く
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい挨拶や返事の出来る子ども</li> <li>・自分の命を大切に、健康でたくましい子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを持ち進んで学習に取り組み、一生懸命学ぶ子ども</li> <li>・決まりよい生活のできる子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の良さを認め合い、ともに育つ子ども</li> <li>・思いやりのある子ども</li> </ul>

## 2 本年度の重点目標

- ①自他の良さや違いを認め合える学級作り (仲良く)  
ユニバーサルデザインの授業。道徳教育・人権教育の充実。仲良し旬間や縦割り活動の充実。
- ②分かる授業、学力の定着を図る授業改善 (正しく)  
自分の考えを持ち表現できる児童の育成。学習形態の工夫。学習基本ルールの徹底。読書指導の充実。
- ③明るい挨拶や返事ができ、健康と安全に気をつけた丈夫な体づくり (明るく)  
誰に対しても明るい挨拶・返事。基本的な生活習慣。
- ④地域の教育力、自然や文化を生かした学習  
ふれあい交流集会。裏山体験活動。米作り・リンゴ学習。地域施設との交流。

## 3 特色ある教育活動

- 稲作・畑作等を通じた農業体験活動
- ふれあい学級交流活動 (清掃・読書・遊び)
- 裏山の自然に学ぶ活動
  - ・裏山植樹・下草刈り・環境美化活動
- ゲンノショウコ採集と薬草文庫
- 地域に開かれた特色ある学校づくり
  - ・ふれあい交流集会とふるさと学習
  - ・リンゴ農園との交流、プルーン収穫体験



ふれあい交流集会



裏山植樹

米作り学習



## 4 施設等の特徴 ・地権者の好意により借用している学校北側の裏山

- ・湯原神社「式三番叟」(長野県無形文化財) ・滝観音

# 臼田小学校

所在地 〒384-0301佐久市臼田264-3

電話 82-2024 FAX 82-5134

E-mail [usudasho@sakushi.ed.jp](mailto:usudasho@sakushi.ed.jp)



明治41年に制定。ナデシコの花がデザインされている。

冬の寒さに耐え、荒れ地に根を張り、美しい花を咲かせるこのナデシコのように、やさしく清らかに、たくましく育ててほしいという願いが込められている。



## 1 学校教育目標

一人ひとりが大地の星に

「かしの木のように根をはって」 「なでしこの花のようにほほえんで」

## 2 本年度の重点目標

自分から あいさつ がくしゅう やりぬく元気

○はっきりあいさつ

・すなおなへんじができる子 ・やさしいことばがけができる子

○すすんであそび、まなぶ

・はっきりつたえる子 ・しっかりかんがえる子

○すすんでちょうせん、やりとげる

・きまりをまもる子 ・心も体も元気でいる子

## 3 特色ある教育活動

(1)「コスモスプラン」「授業がもっとよくなる3観点」を大切にした授業づくり。

(2)算数、図工の全校体制での研究。一人一公開授業による研修。

(3)花いっぱい活動

- ・春と秋のFBC花壇コンクールに参加。春花壇で優良賞を受賞。
- ・地域の施設や商店街へのプランター配布。

(4)地域の方を講師とした学習活動

- ・クラブ活動、読み聞かせ、米作り、菊作り、有機野菜栽培。

(5)臼田高校や老人保健施設などとの交流活動

- ・高校生との栽培活動。小満祭への金管バンドの参加。
- 老人健康施設との交流活動。



## 4 施設等の特徴

○臼田地区や遠く佐久平を見渡すことのできる展望室。

○体育の学習や社会体育で活用している2つの体育館。

○総合的な学習の時間や生活科などの栽培活動でお世話になっている水田や農園。

○水辺の生き物の観察や水遊びなどを楽しめる千曲川、片貝川。

○遠足やどんぐり拾いなどのフィールド、コスモタワー。

○校内音楽会の会場としてお借りしているコスモホール。



# 浅科小学校

所在地：〒384-2104  
佐久市甲 2003-1

電話：58-2102 Fax：58-3213  
E-mail：[asashinasho@sakushi.ed.jp](mailto:asashinasho@sakushi.ed.jp)



雄大な浅間山、蓼科連峰に囲まれた豊かな田園の中で、仲良く逞しく育つ学び舎、浅科小学校を表している。

## 1 学校教育目標

夢に向かって学び合う

## 2 本年度の重点目標

### (1) かしこい人になる

・生活科、総合的な学習の時間を軸とした学級経営を行い、思考力や判断力、自分の思いを自分のことばで表現する力の育成を図る。

### (2) やさしい人になる

・あいさつができる子を育成するとともに、生きにくい子への手厚い支援や、差別のない心を育むための道徳教育、人権教育を充実させる。

### (3) たくましく生きていく

・健康な心と体を育むために、一人一人に食い込んだ生徒指導の充実を図り、自立と生きる力の向上をめざすとともに、運動量の多い全校体育を継続して行う。

## 3 特色ある教育活動

### (1) フラワーロードの活動

・地域の方々のご指導、協力を得ながら国道沿いに花を植え、育てる活動を通して、地域を愛し、地域に貢献しようとする心情を育てる。

### (2) 米作りにかかわる学習

・社会科学習や米作りの学習等を通して、市川五郎兵衛をはじめとする先人の努力を知るとともに、友と支え合い、学び合う喜びを体得する。

### (3) 様々な交流活動

・緑の牧場学園、小諸養護学校、長野盲学校、浅科老人クラブ、長生き会、浅科幼稚園、あさしな保育園など地域内外の様々な人々との交流を通して、人に対する思いやりの心や、自ら考え、行動する力を育む。

## 4 施設等の特徴

### (1) みなこいランド

・木々に囲まれ、自然を体感できる場所。今年度は、市教育委員会や地元の方々からの支援を得て数年ぶりに水が流れるようになり、ますます豊かな遊び場となった。

### (2) 五郎兵衛用水

・学校のすぐわきを流れ、4年生の社会科学習、5年生の米作り活動を支えている。



# 望月小学校

所在地 〒384-2204 長野県佐久市協和 5229 番地

電話-53-2208 F A X 51-1118  
E-mail mochizuki sho@sakushi.ed.jp



「駒の里である望月の歴史と伝統を馬蹄の形」に、「バックの緑色は自然豊かな望月の山々」そして「若木のように伸びやかに育つ子どもたち」「文字の水色は望月の美しい水と空」をイメージしました。



望月小学校全景

## 1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

### めざす子どもの姿

- ① かしこく：友だちとかかわりながら、ねばり強く学ぶ子どもたち
- ② やさしく：ともだち・学校・郷土や自然を大切にする、思いやりのある子ども
- ③ たくましく：心と体を鍛え、あきらめないで、やりとげる子ども

## 2 今年度の重点目標 「あいさつ」「やさしい言葉」

- |      |                    |                 |
|------|--------------------|-----------------|
| 学び合い | ・自分から進んで学習に参加する    | ・あきらめないで問題に挑戦する |
| 高め合い | ・グループの友だちと支え合って考える | ・進んで体を動かす       |
| 支え合い | ・なかよく遊ぶ            | ・だまって掃除する       |

## 3 特色ある教育活動

- (1) 公開授業研究会：すべてのこどもが学びに参加し、学習することの喜びを感じる授業づくりをめざし、「コの字型の学習形態」「4人のグループ学習・ペア学習」を取り入れた学習公開
- (2) みどりの少年団活動
- (3) 親子林道整備作業
- (4) 育林体験学習
- (5) 望月教育プラットホームとの連携
- (6) 地域人材の活用
  - ① 読書ボランティアによる読み聞かせ会
  - ② 4年英語コミュニケーション活動
  - ③ 米作り、習字の指導



## 4 施設等の特徴

- (1) 開かれた学校の一環として、教室の廊下の仕切りのないオープンスペースとなっている。
- (2) 各学年を一つのユニットとして仕切り、学年室をユニットの中央に配置してある。
- (3) 各学年のユニットには、学習・集会活動に使える多目的室が一室配置されている。
- (4) メディアセンター（図書館）、体育館後ろの壁、パソコン室、職員室の壁もガラス張り。
- (5) 校舎と校舎の間に子どもたちが遊べるスペース（一輪車広場）がある。
- (6) 体育館の向かいに子どもたちが自由に遊べたり、集会をしたりすることができるスペースがある。
- (7) 校庭からは、北に浅間山、南に八ヶ岳を望むことができる。
- (8) 望月町には比田井天来記念館、望月郷土資料館等があり、普段の学習に利用している。

# 浅間中学校

所在地 〒385-0022 佐久市岩村田 1361 番地

電話 62-2410 FAX 62-2411

E-mail asamachu@sakushi.ed.jp



校章は、昭和37年1月15日、浅間中学校実質統合を前にして、浅間中学校を象徴する品位を持ち、地方色豊かな図案を一般より募集した作品から選ばれた。その意味するものは、蓼科・八ヶ岳・浅間の山々に取り囲まれたわが浅間中学校に学ぶ子どもたちが、希望に燃え、互いに励まし、情操高く知を深くして、やがて巣立ちゆくその姿を象徴したものである。



浅岳祭 3学年合唱 H25.9.28

## 1 学校教育目標

### 情操高く 知は深く

～故郷の山 浅間山のような～

○誇り高き 浅間中学生 ○熱く燃える 浅間中学生 ○美しき 浅間中学生

## 2 本年度の重点目標

キーワード ～律する・徹する・極める～

学習活動 : 表現すること、活動すること、関わり合うことを通して、伸びる力を一層伸ばす「わかる授業」を行う。

生徒会活動 : 生徒自らの手でよりよい浅間中学校を創造する。

部活動 : 「自分に克つ 勝負に勝つ」を目標に掲げ、部活を通して人格形成を図る。

※目指す生徒像 ①自分で考え、みんなで考え、それを伝えることのできる生徒(書く、話す表現力)

②心を込めたあいさつ(おはようございます。さようなら。こんにちは。ありがとうございます。おねがいします。)のできる生徒(感謝、尊敬、思いやり)

③心も体も健康な生徒(居心地よい学級づくり、部活づくり、仲間づくり、体力づくり、交通事故防止、ケガの予防)

## 3 特色ある教育活動

### (1) わかる授業

① 4人グループでの教わり合い学習を取り入れ、共に学び合う授業づくり。

② 授業の4つの約束(iチャイム着席 ii心を込めて「お願いします。」のあいさつ iii指名されたら「はい」という返事 iv発言は、大きな声ではっきりと)の徹底。

③ 家庭学習の手引き「文武両道」を作成し、学習の習慣化を図るための継続的な指導。

### (2) 特色ある教育課程

① 落ち着いた雰囲気や集中した取り組みの中で、一日をスタートする朝読書。

② 人から学び、人に伝える活動を通して、自己の生き方を考える総合的な学習の時間。

③ 学校の教育活動の一環ととらえ、感謝や礼儀、けじめ等を大切に指導する部活動。

### (3) 楽しい学校

① 生徒会テーマ「Moment」～今、この瞬間(とき)を大切に～を掲げ、伝統の上に新たな歴史を創るために自主的に取り組む生徒会活動。音楽会も含めて全生徒が熱く燃えて取り組む文化祭(浅岳祭)。浅間中らしい爽やかな挨拶実践のための挨拶運動。日常活動を徹底し、充実した学校生活を築きあげる。

② 自主的な係活動を取り入れ、団結や克己心、友だちへの思いやりを深める学年行事「蓼科高原キャンプ」「八ヶ岳登山」「京都・奈良修学旅行」。

③ 互いに認め合い、支え合える人間関係作りを大事にした開かれた学級や学校づくり。

## 4 施設等の特徴

長野県と協定を結んだアダプトシステム活動として地域の美化に貢献している。生徒会美化委員会を中心に学校敷地北側の道路脇に花の栽培を推進。昨年度に引き続き佐久市「緑の街づくりコンクール」で優秀賞を受賞。



# 野 沢 中 学 校

所在地 〒385-0022佐久市野沢335-1

電 話 62-0360 FAX 62-2401

E-mail nozawachu@sakushi.ed.jp



・校地周辺の水田に繁茂する「おもだか」の花と葉をデザインしたもの。  
・素朴で単調な葉、清楚な白い小花をつける「おもだか」は苦難に耐えて、黙々と生き、見栄、へつらいを知らず、たくましくこの地に育つ。

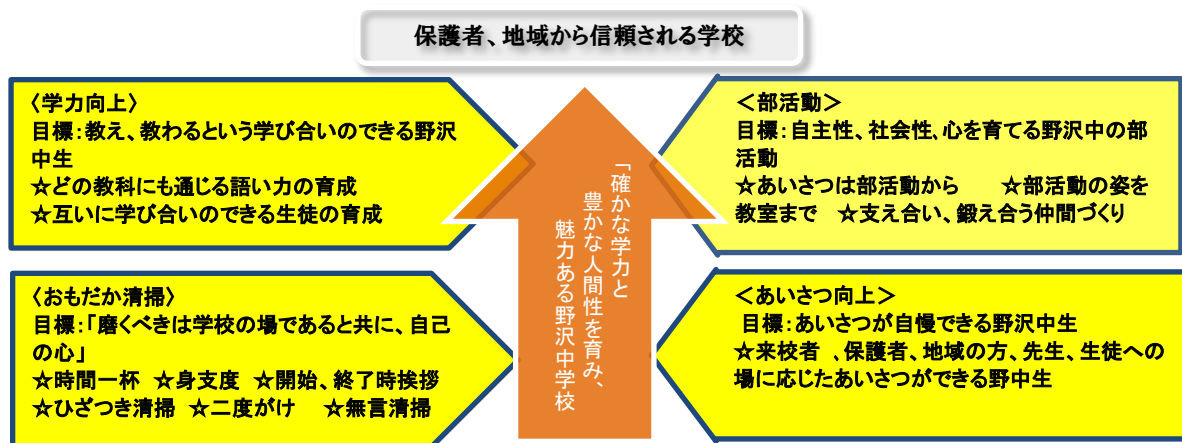


## 1 学校教育目標

「ゆたかに」・・・相手を思いやり大切にする  
「たしかに」・・・目標に向かって努力する  
「たくましく」・・・粘り強く最後までやり抜く

## 2 本年度の重点目標

目標達成型の学校づくり 係型からプロジェクト型へ



## 3 特色ある教育活動

総合的な学習の時間を使っての体験学習  
・1年 「ふるさと」を題材とした俳句や短歌の創作と地域の短誌系文学愛好者との交流  
・2年 地域の企業の職場体験学習  
・3年 福祉関係事業所での福祉体験学習

地域の中の学校  
(1)生徒会活動を通して充実した学校生活に  
・アルミ缶回収による資金で、車椅子を購入し、福祉施設に贈呈 ・生徒会によりゴミ拾い活動  
(2)地域との交流活動の充実

## 4 施設等の特徴

【新校舎改築】 平成15年4月 管理棟特別棟起工式 平成17年9月 生徒棟引き渡し  
平成19年5月 野沢中学校改築事業 竣工式

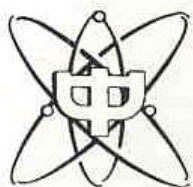
〈周辺〉 近くにはピンコロ地蔵が奉られている成田山薬師寺や藤村の旧宅のある貞祥寺（前山）や「おどり念仏」の西方寺などがある。また、2ヶ所の酒造所があり、鯉や鮒の養殖（桜井地区など）が盛んである。

# 中 込 中 学 校

〒385-0034  
佐久市平賀2313番地

電話 62-0725 FAX 62-2876  
E-mail nakagomichu@sakushi.ed.jp

## 校 章



## 校章の由来

3つの楕円は、太陽を中心として運動する太陽系の軌道をかたどり、永遠の生命を表しています。また、小さくは原子の姿をも表し、科学を象徴しています。私たちの学習が、科学を探究し、合理性の美を愛し、円満な人格をつくって立派な社会人になるように努めることを表現しています。合併前の旧三カ町村各地域の特徴を生かし、しかもひとつの理想のもとに少しの狂いもなく永遠に活動していくことをも表しています。

## 1 学校教育目標 「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」

## 2 本年度の重点目標

- (1) 学びのある授業づくり  
問題解決学習や体験学習を通して、言語活動を充実させ、基礎・基本の定着を図る
- (2) 学友会(生徒会)・学年を軸とした学校づくり  
年度スローガン(目標)をもとに、諸行事や諸活動に生徒が前面に出て活動することで、自治力の向上を図る
- (3) 挑戦を通しての自分づくり  
部活動への取組、各種検定への積極的な参加を通して、困難に立ち向かっていく心を育てる
- (4) 意見の言いやすい風通しの良い学校づくり  
教育相談や各種アンケートから明らかになった生徒・保護者の思いを学校運営に活かす



## 3 特色ある教育活動

- (1) 学友会による地域を大切にしたい諸活動  
学区内各所に立って挨拶を広げる「拡大版挨拶運動」、地域のゴミ拾いをする「地域清掃」、滑津川堤防への「コスモスの植栽」などを行い、お世話になっている地域に感謝の気持ちを伝えています。
- (2) 総合的な学習の時間 ～ふるさと佐久学習～  
1年「佐久を知る～知っているようで知らない身近な地域を探究する～」、2年「佐久で働く～地域での職業体験学習を通して働くこと考える～」、3年「佐久に貢献する～ボランティア活動を通して感謝の意を表し、地域で生きていく自分を考える～」という題材で、地域とのつながりの中で「自らの生き方を問う」学習を行っています。
- (3) 秋桜祭  
この名称は学区内に「コスモス街道(右写真)」があること、市花が秋桜であること等に由来し、全校生徒の投票で決定しました。意見発表、体育祭、音楽会、展示など生徒の発想、自主性で運営されています。



## 4 近隣施設の特徴

- (1) 旧中込学校  
明治時代初めに建てられた小学校の建物で、現存する最も古い西洋風の学校建築の一つとして、国の重要文化財に指定されています。松本市の旧開智学校も同様の施設ですが、こちらの方が、移築や改変が少なく当時のままに近く、素朴な感じます。
- (2) 佐久市営陸上競技場  
陸上競技はもとよりサッカーJリーグの試合開催場としても利用されています。本校陸上部も放課後や休日の練習で使用しています。

# 東 中 学 校

所在地 〒385-0007 佐久市新子田1396-1

電話 67-2392 FAX 67-2415

E-mail [higashichu@sakushi.ed.jp](mailto:higashichu@sakushi.ed.jp)



郷土より産出する二枚貝化石をデザインして、歴史的な意義を示している。三枚の葉は、カシの葉で向学心を表している。



## 1 学校教育目標

### 【切 磋 琢 磨】

＜鍛え・磨き・高め・輝く自分＞

～心豊かに人や地域と関わり合いながらたくましく生きていく生徒の育成～

## 2 本年度の重点目標

- (1) 自己を高める清掃
- (2) 地域にも響くあいさつ
- (3) 心を合わせ一つになる歌声

を重点に、学校生活の安定を図り、学力向上に努める。

## 3 特色ある教育活動

「高師が丘の時間」として、地域の人・もの・ことと関わり、生きる力を伸ばす学習を行う。

### (1)「郷土に学ぶ学習」

①この地域の良さに触れ、それを実感できるような内容や展開を工夫する。

#### ②主なテーマ

- ・全校 「郷土を描こう」(安養寺、鼻顔稲荷、旧三井小学校、守芳院等での写生会)
- ・1年生「美術館へ行ってみよう」(佐久市近代美術館を訪れ、作品から学ぶ)

### (2)「生き方に学ぶ」

①人としてよりよく生きるために、必要な基礎的・基本的な内容を学ぶ。特に地域の方や専門的な立場の方から学ぶ機会を設けると共に体験的な学習を進める。

#### ②主なテーマ

- ・1年生 「6年生と交流会をしよう」「性教育」
- ・2年生 「自然・地域のよさ」「職業体験学習」「性教育」
- ・3年生 「地域との違い」「福祉体験学習」「性教育」「赤ちゃんふれあい体験」

## 4 施設等の特徴

- 校舎に、郷土の民話や歴史・自然などを題材にしたレリーフやモニュメントが設置されている。
- 屋根は寄棟の日本瓦で、隣接する長野支場の牧歌的雰囲気表現し、校歌にも歌われている「薨あかく そびえて建てり」を基に赤褐色の瓦を使用している。

# 臼田中学校

所在地 〒384-0414 佐久市下越286-1

電話 82-2139 FAX 82-2217  
E-mail [usudachu@sakushi.ed.jp](mailto:usudachu@sakushi.ed.jp)



校章の由来：昭和37年、全国から1,086点応募、審査の結果、大阪の国賀恵美子さんが入選した。全体の形が、旧臼田町の地形と鳥のはばたきを型どり、若人の雄飛を象徴している。



## 1 学校教育目標

### 信頼される人になる

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| (1) 疑問を大切にし、学力を身につけよう    | (知育) |
| (2) 優しさを大切にし、思いやりの心を育てよう | (徳育) |
| (3) 継続を大切に、強い心と体をつくろう    | (体育) |

## 2 本年度の重点目標

- |                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| (1) 確かな学力をもつ生徒    | 基礎・基本を大切に「自ら学ぶ・共に学ぶ・学び方を学ぶ」生徒の育成 |
| (2) 豊かな心をもつ生徒     | 思いやり、人間関係力、自らの感性を磨く生徒の育成         |
| (3) 健やかな体を自ら育てる生徒 | 鍛錬、健康学習、食育推進を活かせる生徒の育成           |

## 3 特色ある教育活動

- ① 友との関わりながらグループ活動やペア活動の在り方を究明し、表現力が豊かになっていく生徒の育成を目指しています。
- ② 総合的な学習で、地域の歴史、文化、音楽などを学ぶとともに、地域行事にも積極的に参加して交流、親睦を深めています。
- ③ 「わが子にしてほしいことを、目の前のこの子にしていこう」を教師の合い言葉として、生徒の心に寄り添った支援を行っています。

## 4 施設等の特徴

平成22年度より管理特別教室棟の建設をはじめ、生徒教室棟、新体育館、プール、グラウンドを完成させ、平成25年3月には新校舎竣工記念式典を行い、25年4月よりすべての学習が新しい施設で始まりました。千曲川河畔の田園風景によく似合う美しい校舎と体育館が、毎朝登校する生徒を温かく迎え、暖かい日には中庭で、語り合う生徒の姿が多く見られます。



# 浅科中学校

所在地 〒384-2106 長野県 佐久市八幡150

電話 0267-58-2101 FAX 0267-58-3206

E-mail [asashinachu@sakushi.ed.jp](mailto:asashinachu@sakushi.ed.jp)



学問を象徴するペン先に稲穂を配する校章は、先人の名を冠する五郎兵衛米の産地である浅科で、この稲穂のように実り多い学校生活を送り、英知にあふれる心豊かな人間に育ててほしいという願いが込められています。開校の際に制定され、昭和35年の旺文社主催全国校章コンクールで三位に入賞しました。



## 1 学校教育目標 「志高錬成(しこうれんせい)」

志を高くもち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える

- 大きな希望・理想のもとに知恵を磨こう。 (知)
- 優しく素直で思いやりのある豊かな心を育てよう。 (徳)
- ねばり強く取り組み、強くたくましい心身をつくろう。 (体)

### 【4つの重点とめざす生徒の姿】

- 《挨拶》 心を開き、人間関係を深めていこうとする生徒 (コミュニケーション)
- 《食事》 生活リズムを正し、心身の健康づくりをしていこうとする生徒 (食育・健康)
- 《清掃》 心を磨き、生きるための知恵を身につけていこうとする生徒 (勤労・奉仕)
- 《歌声》 友と一つになり、自ら表現していこうとする生徒 (協力・表現)

## 2 本年度の重点目標

### 【凡事徹底】 「当たり前のことを当たり前に行っていこう」

- ・「挨拶」「食事」「清掃」「歌声」の充実
- ・「校風」としての浅中スタイルづくりの推進
- ・学習に向かう姿勢や心構えの徹底

### 【言語活動の充実】 「自分の考えや思いを自らの言葉で表現していこう」

- ・各教科における言語活動の充実
- ・活発な言語活動が展開されるような学習集団づくり
- ・学び合いが生まれるグループ学習などの工夫
- ・ノート指導も含めた、書く学習の充実

## 3 特色ある教育活動

- 全員が参加する授業…自分の考えをもつ・書く・発する。
- 地域を知り、地域に学ぶキャリア学習  
様々な伝統・技能・文化等を知り地域の方から生き方を学ぶ。
  - ・老人会の方々との交流会・地域清掃(支部生徒会)・地域文化の継承(中山道宿場太鼓)
  - ・吹奏楽部の地域での演奏(宿場祭、道の駅祭、浅科芸能祭、いきいきサロン等)
    - <1年>老人会の方々との交流
    - <2年>職業体験学習(浅科地域を中心にして市内各事業所にて)
    - <3年>ボランティア体験活動(浅科・望月を中心とした市内各施設にて)
- 人権同和教育の充実…教育活動全領域で日常的に行う。
  - ・講師を招いての人権同和学习の実施
  - ・教職員の人権同和教育研修
- 福祉交流教育の充実  
共生の精神を培い、福祉の心を持ち続けることを願い、地域の施設でのボランティア体験や障害者の方から学ぶ体験学習を行う。

## 4 施設等の特徴

浅科中学校は、昭和33年4月、東西二つの中学校が統合され出発しました。昭和62年に現在の場所に移築され、広い廊下と大きな窓、天文台を持つ校舎が誕生。北に浅間、南に蓼科を望み、緑豊かな早苗から黄金色の稲穂へと四季折々色彩が変化する風光明媚な環境の中にあります。最も環境の良い場所で理想的な充実した中学校生活をという地域の思いと期待が、受け継がれています。

# 望 月 中 学 校

所在地 384-2204 佐久市協和6925番地

電 話 53-3101 FAX 53-3102  
E - mail [mochizukichu@sakushi.ed.jp](mailto:mochizukichu@sakushi.ed.jp)



新管理生徒棟

若草色の三角形は蓼科山・若さを表し、赤い三角形は浅間山・情熱を表す。また黒線の三角と三条の線は学区内を流れる川・愛を、白い円は望月・円満・平和を表している。「中」は中学生を花の蕾に喩えた形である。

## 1 学校教育目標

- 1 学校目標 「自主・自律・愛他」
- 2 教育目標 「磨き合う」(生徒・教職員が共に育つ行動目標とする)
- 3 めざす生徒像  
「豊かな心を持ち(心を磨く)、自ら学び続ける(知恵を磨く)、  
健やかで逞しい(体を磨く)生徒」
  - ① 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、解決していける生徒(自主)
  - ② 自らを律しつつ、主体的に判断し、行動できる生徒(自律)
  - ③ 他人と協調し、他人を思いやる心や感謝する心を持つ生徒(愛他)

## 2 本年度の重点目標

- 1 安全で安心な学校ーいじめのない明るい学校、安全で安心して学べる学びの環境づくり
- 2 楽しく、分かる授業ー学ぶことが楽しいと実感できる授業の実践
- 3 生徒が主人公ー生徒の手によって運営される行事・生徒会活動
- 4 信頼される開かれた学校ーP T A・保護者・地域住民との連携を大切にした教育活動、積極的な授業公開、生徒の体験学習やボランティア活動の推進

## 3 特色ある教育活動

- 「かかわり・つながりによって、思考を広げ、深める」ことへの指導・支援(教科)
  - ・「学びの共同体」づくりへの取り組みを通して目指す、生徒同士が関わり合う授業の推進。
  - ・朝読書、家庭学習等の学びの機会を充実し、学習習慣の習得。
- 「人の生き方について学び合う」ことへの指導・支援(道徳)
  - ・教師と生徒が、より良い生き方を求め、共に考え、共に語り合う指導。
- 「自ら課題を持って課題追究できる力を育む」ことへの指導・支援(総合的な学習)
  - ・課題解決等に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考えさせる。
- 「集団生活を通して、自己を生かす能力を養う」ことへの指導・支援(学級活動)
  - ・学級・学校生活に適応し、のびのびと明るく仲良く学習にいそしませる。
  - ・個性の伸長を図り、将来に意欲的に立ち向かう生き方の創造をさせる。
- 「体力、精神力、忍耐力、表現力とうの育成」への指導・支援。(部活動)
  - ・趣味や特技を発見し、生涯学習への基礎づくりをさせる。

## 4 施設等の特徴

望月地域の皆さんの願い・支援に支えられ、本校は今年度創立50周年を迎えた。昨年度は管理生徒棟が完成し、本年度には特別教室棟が、校庭整備等も含めると平成28年度竣工予定である。生徒たちは、新校舎での生活と日に日に進む校舎建築を目の当たりにして、期待をふくらませている。